



士気旺盛な 消防精神 を示す

平成20年
消防演習

一糸乱れぬ訓練 総合評価は極めて優秀

写真説明①きびきびとした部隊訓練②観閲をする統監と来賓③町民を楽しませた大橋上流での放水訓練④差し入れられた温かい牛乳で温まる近隣市町村の関係者⑤軽便操法を立派に披露した小屋瀬少年消防クラブのメンバー⑥駅前で威風堂々の分列行進のラッパ隊による号令⑦腕用ポンプ操法を披露した葛巻幼稚園児⑧県内トップクラスのポンプ操法

平成二十年度の葛巻町消防演習は五月十一日、葛巻小学校グラウンドを主会場に行われました。町消防団（長岡宏団長・団員三百五人）、町婦人消防協力隊（元村トモ隊長・隊員二百五十三人）は、時折ぱらつく雨や肌寒さをものともしないで、日ごろの活動成果を存分に披露し、町内外からの参観者に「葛巻町消防団ここにあり」と、消防の町くずまきの意気を示しました。

午前八時、ラッパの音とともに統監の鈴木重男町長が入場。消防関係の物故者に黙とうをささげた後、消防活動に功績のあった方々を表彰。觸澤義美副統監が演習開始を宣言しました。

鈴木町長は「消防団の消防の町に寄せる大きな情熱に感謝。今後とも町民の尊い生命と財産を守るため、より一層心身を鍛えてほしい」と訓辞。部隊訓練やラッパ吹奏訓練、婦人消防協力隊の初期消火訓練、少年、幼年消防クラブ員による演技、消防操法訓練などが会場いっぱいになり広がりました。

葛巻駅前では、多くの観客が見守る前で園児を先頭に分列行進。演習の締めくくりは放水訓練。駆けつけた町民の前で葛巻町消防団の心意気を示しました。

盛岡広域消防本部の宮野春雄消防長は「さすが消防の町。一糸乱れぬ訓練、極めて優秀」と、最高の評価をしました。澤村憲治顧問の首頭で万歳三唱をし、町の消防団の発展と安全安心なまちづくりを誓いました。

消防協力隊など
消防クラブ
婦人消防クラブ
少年消防クラブ
幼年消防クラブ
約550人参加